

柴北川プロジェクト通信 10号

平成22年5月15日(土)

1. 「柴北川を愛する会」との合同会議を開催

「山村再生プラン～山桜の保全・活用を軸とした、「花いっぱい」のふる里づくり」事業は、3月までの活動で一旦終了しましたが、当然のことながら、半年の活動だけでは十分な成果が得られるはずもなく、今期22年度も引き続き「柴北川プロジェクト」を続けましようと言うことで、「柴北川を愛する会」と共助研による合同会議を開催しました。

事前の週間予報では雨天が予想されていた15日の土曜日は幸いに晴れとなり、朝10時半に建コン協会ビル前に集合した共助研の参加者4名(木寺、波木、濱田、前田武)は、10人乗りワゴン車(8人乗りで予約をしたら手違いで10人乗りに。レンタル料金は変わらず、座席を持って余しながら、ゆったりとドライブ)で大分道を東進し、途中昼食をはさむ2時間半のドライブで長谷入り。会議場所の黒松生活改善センターをパスして松巖寺橋たもとの視点場へ直行し、大野川流域ネットの三浦さん達に整えていただいたベンチに座って、裏山と柴北川の清流を望みながら思わず、「帰ってきたね」とつぶやく一同でした。



松巖寺橋の視点場にて

黒松生活改善センターに戻ると、既に「愛する会」の方々が準備を始めておられ、現地合流の幸野、玉田を加えて14時から合同会議を開始しました。今回の会議テーマは、「花いっぱい」のふる里づくり事業の活動報告会」及び「今期の活動方針」でした。

合同会議参加者

「柴北川を愛する会」

大塚会長・後藤副会長・甲斐副会長・穴見会計役
安藤顧問・樋口顧問・渡邊事務局長・赤峰さん
安藤さん・三浦さん 以上10名

「共助研」

木寺・幸野(大野川流域ネットワーク)・玉田
波木・濱田・前田 以上6名



合同会議の様子

2. 「花いっぱい長谷まつり」を6月19日に開催することで決定

以下、当会の濱田による会議記録により、協議内容を紹介します。

(1) あいさつ・経過報告

開会あいさつ(大塚会長)

本日のプログラム紹介(波木)

自己紹介(全員)

長谷探検隊などの活動報告(渡邊事務局長)

・合同会議(愛する会、長谷探検隊、青年会、その他)の予定報告

- ・長谷探検隊の活動報告
 - ・シンポジウム終了
 - ・5/5 柴北川の2つの淵（梅の木淵、車淵）を探検した（幸野事務局長提案）
 - ・長谷探検隊2回目の活動報告
 - ・3年生6名を中心に活動していたが、病欠1名の代理で1年生が参加。次回からは6年生も参加予定
 - ・発足当時は大人も一緒にやる予定だったが子供達だけで計画を立ててやっている。報告書をまとめている。
 - ・夏に柴北川上流から、川の中を探検する予定
 - ・栗ヶ畑城の続きを安藤先生にまとめて頂いて、2本立てで9月の川のワークショップに行く予定（旅費は募金活動中）



合同会議の様子

- ・黒松地区ファミリー青年会：青年会でも手伝いが出来ないかとの申し出があり、以下の活動等を一緒にしようと話が進んでいる。
 - （視点場入口の案内看板設置、田植え・青空市・収穫祭など）
- ・花一杯の輪が各地区に広がる
 - 黒松西婦人会：補助金を貰い花植え、草刈り等を実施、柴北川上地区：花植えの補助金を申請、下地区：ひまわり、山内地区：あじさい45本追加、合計100本ぐらい。
- ・長谷小学校跡地利用検討委員会の報告
 - ・保護者代表（女性）2名、青年会長2名が追加
 - ・小学校跡地活用のアンケートを配布中、30日集計。午後に第3回委員会が開催予定。
 - ・11月までに答申を上げるよう市からの要望
 - ・現状は学校施設でなくなったということで利用出来ない 6月の議会にかける？
 - ・校庭の除草、剪定を黒松青年会とソフトボールクラブで受ける（年12万円）
 - 意見（安藤顧問）：学校の跡地利用について自治区に降ろし、話し合うことが必要と思う。校区全体のエネルギーが跡地利用につながって行くと思う。アンケート集計が出来た段階でも地区に降ろして再度話し合い、意識を盛り上げることが必要と思う。 30日に提案する
- ・柴北川の環境整備（大塚会長）
 - ・川の中に よし が生えてきている 刈って焼却予定（土木事務所の了解済）

（2）活動報告会 について

P3 活動報告会の内容説明（波木事務局長）

- ・報告会の名称：地区の人が参加しやすいように名称を「花いっぱい長谷まつり」とする
- ・実行委員長：大塚会長 実行委員：今日の会議参加者全員
- ・報告会の開催趣旨：了解
- ・主催団体：柴北川を愛する会
- ・報告会の日時・場所

- ・日時 6月19日(土) 10:00~16:30
- ・場所 長谷小学校体育館(市役所の了解済み)
- ・参加予定人数 (おおよそ) 長谷地区 100名、大野川流域ネットワーキング 30名
共助研 20名、豊後大野市 数名

・報告会プログラム

- ・午前の部 10:00~13:00 場所:視点場
田植え(2時間程度) 青空市、昼食
(婦人会で弁当販売)
視点場の名称募集(青年会、探検隊、
黒松西婦人会)と発表会

- ・午後の部 13:30~16:30 場所:小学校の体育館
内容(以下の項目を各1時間づつで
予定)

活動報告の部

意見交換の部

文化交流の部

元かぐや姫メンバーの森進一郎さんに協力を要請する(幸野事務局長)

G I Sによる山桜マップのデモは体育館の活動報告の中で実施する



田植え、青空市の予定場所

・提案(幸野事務局長)

行政(県の農政、振興、河川、豊後大野市等)に活動をPRし、今後行政にここを手伝うという気持ちを持って貰い、例えば県の振興局が毎年募集しているものに応募すると予算が取れる、あるいは豊後大野市が予算をつけようとかの思惑が入ってきます。これまで自力でやってきたことを今度は行政を巻き込んでやる時期にきたと思う。非常にチャンスと思います。

(3) 今期の活動方針について

P4、P5 今期の活動方針の提案内容説明... たたき台としての案です(木寺)

1) 山桜調査の追加

- ・実施する場合は11月頃からにしたい。

2) 視点場整備・活用

- ・新しい視点場整備が出来るか否かは愛する会で地主さんと話をする。
(場所は県道沿いになる)
- ・視点場の川の飛び石は軽トラが通る高さで飛び石を置くことを考えている。
- ・川の中の道路の下に管が3本入っており、詰まっている石を除去すれば良い。

3) 松蔵寺裏の山桜の手入れ

- ・竹林対策は早くしたい。竹の活用と駆除方法等について説明(濱田)
- ・竹炭にして活用する方法もある(たんぼの水の浄化に活用)

4) 山桜マップに主要な名所・旧跡等の追加

- ・開花時期の写真を追加

5) 長谷里の駅づくり

- ・小学校を活用して地区の方が日頃集まって交流したり、簡単な買い物、文化活動の拠点など日常の暮らしの中でうまく使っていける場としての提案です
- ・外部から来たとき、お昼を食べる場やトイレや休憩するところがない。外部から人が来出すと必要になる。
- ・一つの大きな夢ですね、日常の活動の中で良いヒントが出てくると思います。

6) カレンダーづくり

- ・四季がわかる歳時記みたいな写真を作ってはどうか

活動方針については「愛する会」で検討して頂いて共助研としてお手伝いできることがあれば要請して頂きたいと思えます。



道端のアザミと三の岳

4. その他・あいさつ

6/12のシンポジウムについて(波木)

建設コンサルタント協会が支援している風景デザイン研究会主催のシンポジウムで、事例発表として柴北川プロジェクトを報告してほしいという依頼がありお受けしました。パネルディスカッションに「柴北川を愛する会」から渡邊さん、大野川流域ネットワークから幸野さんに是非参加して頂きたい。共助研からは木寺、前田、波木が参加します。コーディネートは九州大学の高尾先生です。

その他

- ・「愛する会」の定期総会は6月の行事が多いので7月に回します。
- ・探検結果のパネルでの紹介や地図を是非作って欲しい。地図を作る段階で何が足りないかが見えてくると思う。今度の「まつり」でみなさんに見せて欲しい。

閉会あいさつ(後藤副会長)

3. 「花いっぱい長谷まつり」の成功を誓い合って

予定の16時を超える白熱したそして楽しい議論を終えて、まつりの実行委員となった会議参加者全員は、1ヶ月後に控えた「花いっぱい長谷まつり」開催への期待に胸を膨らませながら、その成功を互いに誓い合って会議を終えました。

1カ月後の再訪を期して帰途に就く共助研メンバーを、柴北川源流の碑のそばにたたずむ、紫花と青葉で着飾った桐の木が、見送ってくれました。

(文責：濱田・波木)



柴北川源流の碑と桐の木